

おめでとうございます

長谷川博己氏(三成) 最高位の交通荣誉章「緑十字金章」受章

長谷川さんは、通算40年以上にわたり、交通安全協会三成支部支部長などの役員として、地域の交通安全、交通事故防止に尽瘁され、交通安全団体の組織結成・育成強化、各種交通安全運動の企画・推進に尽力されるなど、多大な貢献をされました。

この度、こうした長年の功績が認められ、1月18日に東京都の日比谷公会堂で開催された、第48回交通安全国民運動中央大会において、交通安全の最高章である「緑十字金章」を受章になりました。



奥出雲の魅力を発信

島根ふるさとフェア2008

島根県への観光入り込み客数トップを占める広島県で、島根県各地域の特産品や観光資源等を紹介する「島根ふるさとフェア2008」が一月十九日、二十日の両日、広島グリーンアリーナ（広島市中区）をメイン会場に開催されました。

また、メイン会場の特設ステージでは、仁多乃炎太鼓による「炎太鼓」、「たたら囃子」が演奏され、太鼓の勇壮な響きが会場を盛り上げました。

今年で十一回目を迎える、県内の全二十市町村と観光協会など約百三十ブースが立ち並び、二日間で約十三万七千人が訪れ、島根の味や文化を堪能しました。

今回は「なつかし、やすらぎ、しまね」をテーマに、島根ならではの味わいや文化、暮らしの中にある懐かしさや安らぎを感じてもらえる様々な企画が用意されました。



▲ 多くの方が奥出雲町のブースに訪れました

奥出雲町からは、特産品の舞茸、地酒、和菓子などが出品され、ブースには行列ができ、訪れた多くの人が買い求めていました。

参加した出店者からは「島の一人達に奥出雲の魅力をPRでき、今後一層の販路拡大につなげていきたい」と今後の抱負がありました。

斐伊川・神戸川流域の市町が連携 出雲の国・斐伊川サミット



▲ サミットの様子

斐伊川・神戸川流域の二市三町（出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町、斐川町）が圏域の発展を目指し、共同事業などに取り組む「出雲の国・斐伊川サミット」の第二回会議が一月三十一日、亀嵩温泉「玉峰山荘」で開催され、五市町の首長が出席しました。

事務局提案の規約が承認された後、①環境②教育③産業④観光⑤古代出雲文化⑥福祉医療の六分野を柱に交流連携を図ることが確認されました。

事業概要は、イベントの共同実施、地域間交流の促進、圏域内の情報共有などで、特

に「島根ふるさとフェア」の共同出展、「広域観光マップ」の作製、出雲神話、たたら歴史など圏域内の観光資源を活かした探訪ツアーやイベントが今後協力して行われます。

岩田町長からは「各市町が連携し、一体性を持つことで観光施策を中心に相乗効果が期待でき、集客につながる」と提言がありました。

現在、出雲市役所に事務局が置かれ、新年度事業計画、予算などについては、四月に飯南町で開催される次回のサミットで決定する予定です。